

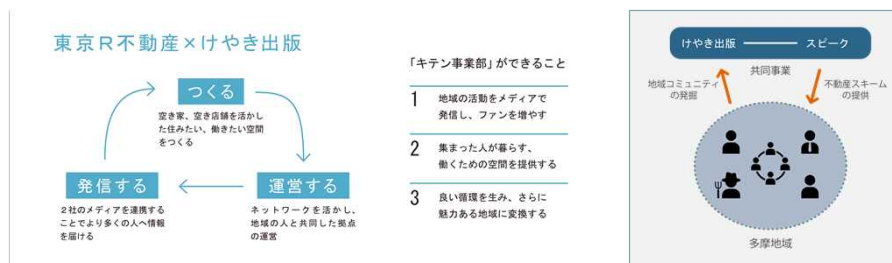
多摩地域の各エリアで地域活動を展開するプレイヤーと連携することにより、各地域に密着した活動の中から空き家を発掘し活用につなげるため、体制を構築。8つの事業者等と連携体制をつくり活動を実施し、今後も継続的にプレイヤー開拓と連携を行うための仕組みを構築した。

■ 事業概要

| | |
|-----------|---|
| 事業部門 | 部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業 |
| 事業地域 | 多摩地域(東京都下、および隣接する地域) |
| 背景・課題 | 東京の郊外エリアでは、コミュニティビジネスやNPOなど、地域に密着した活動が他の地域に比べて盛んである 高齢化による空き家の発生が多いが、高齢者はイベントなどへの能動的な参加が期待しづらいため、効果は限定的 |
| 目的 | 多摩地域における空き家の発生抑制と活用を、各エリアで地域活動を行う事業者や団体等と共同体制を構築することにより実現すること。またこの共同体制を、連続的に複数のプレイヤーと構築するための手法・体制を、多摩地域で活動する「けやき出版」(東京都立川市)との協業において実現すること |
| 連携する団体・役割 | 株式会社けやき出版(役割:地域活動を行う事業者や団体等との共同体制の構築) |

1. 多摩地域に根差した活動をする「けやき出版」との協業体制の構築

多摩地域に特化した活動を40年以上行う「けやき出版」の持つ多摩での関係を生かし、各エリアのプレイヤーと関係を構築、空き家の発掘や活用につなげる。



2. けやき出版と連携したプレイヤーの開拓およびその手法の構築

けやき出版が有する地域プレイヤーとの関係をもとに、空き家活用とそこから派生する事業での共同体制を構築するためのプレイヤー開拓を行った。

- ▶ イベント：実施3回、予定1回／イベント参加：各回35組程度／発信：各社HP、他

3. 開拓したプレイヤーとの関係構築

各地域でのプレイヤーを核にした事業展開や空き家対策の活動に展開するため、企画立案や打ち合わせなどを行い、具体的な活動に向けた関係構築を行った。

- ▶ 関係構築：10事業者と連携／連携事業のモデル提案：4件

4. 空き家発掘や活用の手法・ノウハウのプレイヤーへの提供

プレイヤーがそれぞれの活動地域で空き家を発掘し、活用につなげられるよう、発掘の方法や、活用の手法などについて情報やノウハウを提供した。

- ▶ 空き家活用提案実施：5件／地域活性化の目標のビジュアル化・資料化：4件、他

5. プレイヤーによる空き家開拓のサポート

各プレイヤーが継続的に空き家の開拓に取り組める状態になることを目指し、自治体や自治会などとの関係構築をはじめ、各地域での活動のサポートを行った。

- ▶ 配布資料などツールの提供／イベント告知用配布物：4件／自治体等との関係構築

6. 取り組みについての情報発信

当社とけやき出版の持つメディアやSNS、その他の発信チャンネルを生かし、本事業での活動や、各プレイヤーについての情報や活動内容を広く発信した。

- ▶ 情報誌『BALL.』での特集ページ／発信：各社HP、SNS、メルマガ、定期刊行物

7. 空き家活用に向けたイベント・相談会等の実施

空き家セミナーなどに加え、まち歩きなどを組み合わせた地域への関心の向上の取り組み、地域活性化や地域課題を考えるトークイベントなどを実施した。

- ▶ セミナー・イベント：実施5回、実施予定8回／イベント参加：合計140名以上